

う な ば ら 海 原

題字河原孝好先生

発行
平成 27 年 5 月 1 日
第 41 号
海原会
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕
〒 169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園
TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641
ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>

お知らせ/ 掲示板

会費納入のお礼状について

事務作業費用削減のため、昨年度から年会費納入のお礼状を控えております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。永年会費のお礼状については今まで同様にお送りしております。

年会費の納入について

「年会費を何年也纳めていないので、海原会に顔を出しづらい」という声を時々いただきます。年会費を納めなかった方に対し、さかのぼって請求することはしていません。その年の年会費をお納めください。

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートから会報のバックナンバーの閲覧ができます。閲覧にはパスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。パスワードは2015年5月14日までは「oBaba.03」、2014年5月15日から「Oro:1000」になります。

海城高校を卒業していない方の入会

海城中学校卒業後、他の高校に進学した人、引越等やむを得ない理由で転校・中途退学をした人も海原会に入会が可能です。該当されて入会希望される方をお知りの場合、海原会までご連絡ください。

会則 第2章 第5条から抜粋

- 一 海軍予備校 二 日比谷中学校
- 三 海城学校 四 旧制海城中学校(この学校の4年修了者も含む。)
- 五 海城中学校 六 海城高等学校

前項各号に掲げる学校のいずれかに在籍した者又は本学園に縁故のある者は、常任幹事会の推薦により、会員となることができる。

昭和62年卒ゴルフコンペ

昭和 62 年卒では春秋の 2 回ゴルフコンペを実施しています。
期日 5月17日(日)
場所 千葉県成田市 大栄カントリークラブ
集合 午前09:00に現地
資格 昭和59年海城中学校卒・昭和62年海城高校卒
人数 12人を予定
参加希望の人は5月10日までに国井信男(3組)まで連絡ください。
nobuo.kunii@unabarakai.jp

創立125周年 特別企画

あの頃の海城 我が学園生活の思い出

明治24年(1891年)に創立された海軍予備校にはじまる海城学園は来年で創立125周年を迎えます。そこで今回からシリーズで学園の歴史を振り返りつつ、大先輩方が学んでいたころの学園生活の思い出などをまとめてお届けします。第二回は激動の昭和初期編です。

昭和4年卒 清水秀雄さん



海城中の現役時代に心に残った事態を、3綴つてみました。ご存知のように関東大震災(大正12年)にも海城中学の一画が災害を免れ焼け残りまし

その隣には日比谷小学校、その隣には府立第一中学校(現日比谷高校)がありました。震災当時私は日比谷小学校の6年生でした。翌年中学進学、家から一番近い海城中学校を選んできました。他の中学校と異なる点は制服が海軍大尉と同じ型で金ボタンではなく蛇腹でホック止めでした。海城中の一番の特徴は校門でした。昔の大名屋敷の門をそのまま残したのも

ラッパ合図に登下校

型は華族会館にあり、東京では一か所だけだと思います。その門の両側には住宅がついていて、左側には海軍大尉退役の綾部先生(体操、右側にはやはり海軍退役の大野事務員が住んでいました。授業開始、終業時等の合図は全て大野事務員のラッパ吹奏によって行われました。

当時生徒は全員、門鑑と称する木の札(表に自己の名前、裏に海城中学の焼印)を持たされ、登校の時に事務所に置いてある各クラス別の箱に入れ、下校時に持つて帰る制度でした。始業が8時だと、その5分ぐらい前に大野ラッパ手が外に向かってラッパで合図する。すると日比谷公園裏通りの海城の生徒は8時ジャストに箱が引込められるので一斉に

走り出します。また、一中の生徒も日比谷小学校寄りの裏門から登校しており、8時に門を閉じるので走りだします。小学校の生徒は危ないので道路側に避ける毎日でした。先生の思い出

海城中には、風変わった先生が2、3人いました。
・漢文の先生は70歳を過ぎていたと思われ人でしたが、常に漢文よりも長寿の講義が多く、自分は125歳まで生きると宣言し、毎日梅干を一ケ喰うと良いと言っていました。
・退役軍人の数学の先生は「ここは大事なところだから絶対に覚えておけ」と講義ではなく命令される。
・国語の先生は日本の講師と兼ねられていて、講義が面白く中国の格言等を多く引用され、「人間万事塞翁が馬」の説は私の現在の生活に取り入れることができる



海城OBが経営するお店を紹介しています。
自薦他薦、海城OBのお店情報をお寄せください。

海腹グルメ③ 純酒肴 吟 (上野広小路)

下町の風情がうれしい上野広小路。駅から1分、春日通りを一つ入ったところにあるのが純酒肴吟(ぎん)。

この店のオーナーは坂元剛洋さん(昭和63年卒)。高校時代はラグビー部でグラウンドを駆け回ったスポーツマンだ。早稲田大学を卒業後、ホテルマンとして働いていた30才の時に転職が訪れる。知人から飲食店をやらないかと誘われたのだ。ホテルで働いていたとはいえ、厨房が担当ではなかった。周囲からは「30過ぎて板前になろうとしても遅すぎる」とも言われたが、じゃあ、やってみようじゃないかと奮起。下働きからがんばった。確実に実力を付け、今の店は12年前にオープン。

「うちのイチオシは刺身。それに合う日本酒を揃えています」と坂元さん。刺身はその日の良いものを坂元さんの目利きで選ぶので出てくる魚は毎日変わる。日本酒は菊正宗を筆頭に日本中の地酒がこれでもかとズラリ。



酒の好みは人それぞれという考えから、芳醇から辛口端麗までさまざまな酒が揃う。お気に入りの一杯がきつと見つかるだろう。

落ち着いた店内は常連さんが中心。女性の一人客の姿も。じつくりと酒と肴を味わうのでつい長い居居してしまふ人も多いというのは納得だ。

★特典★

初回訪問に限り平成27年6月30日まで予約時に海城OBであることを告げると乾杯の生ビールがサービスになります。

純酒肴 吟

所在地 文京区湯島3-41-10
TEL 03(3834)0488
<http://r.gnavi.co.jp/a322200>
営業月々金 17:00~23:00(6:23:00)
土 17:00~22:00(6:22:00)
日曜祝日休
(国井信男記)



編集後記

◎平成27年卒の進学先人数1位は東大なんだとか。ボクの時代は駿台でした。(国井)
◎創立125周年を迎えるということもあり、ネットで海城高校を調べていたら、皇太子妃雅子様が創設者である古賀喜三郎先生の玄孫だと記されていました。なるほど。(大町)
◎今回の特集で既に百歳を超えた方から90歳近い大先輩から原稿を頂いたり取材に同行して感じたことがある。昭和の初期の激動期を生き抜いたという自負心である。それは海城に学び育てられたという強い愛校心だと思った。(石原)
◎創立125周年特別企画として大先輩方の実体験と証言に基づく「実録学園史」をスタートしました。武家屋敷門、軍事教練、農業実習今では想像もできない学園がみえます。次号以降もできるだけ多くの先輩方の証言をもとに各時代の学園の姿を振り返ります。皆様の貴重な体験、エピソードなど会報編集部にお寄せください(小西)

編集担当

片山忠美 (S28)
石原長夫 (S33)
小西洋也 (S41)
佐久間雅彦 (S49)
大町一夫 (S51)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)

今年の卒年表彰対象年次

総会に出席した対象年次の方々には記念品を贈呈します
お誘い合わせて総会にご出席ください

- 祝60年… 昭和30年卒
- 祝50年… 昭和40年卒
- 祝40年… 昭和50年卒
- 祝30年… 昭和60年卒
- 祝20年… 平成7年卒



第94回海原会総会ご案内

平成27年6月13日(土) 午後3時開会(2時受付)

参加費／3,000円 学生1,000円 本年度卒新会員は無料

- ◆挨拶／海原会会長 海城学園理事長 海城中学高校校長
- ◆平成26年度活動報告、収支報告
- ◆平成27年度活動予定、予算報告
- ◆その他
- ◆卒年対象者への記念品贈呈
- ◆海城吹奏楽団演奏
- ◆懇親会 食堂棟2階カフェテリア

同封の返信用はがきで5月末日までに出席をお知らせください

※海原会は皆様の会費で運営されております。

あの頃の学園生活―昭和初期編

我々はここで育てられた



昭和13年卒 加藤隆之さん

「正面に校舎があつて右側に講堂、前庭の左に砂場と鉄棒があつた。それに大きな太い木があつた。校舎の裏側は

原っぱだつたと思う」と当時の姿を語る。「東西南北の4クラスあつたけど、我々は2クラスだつた。学校は一般の進学校と同じで、特に軍を目指すとか、軍の関係者の子供が多い訳ではなかった」。制服は海軍将校と同じ、



軍事教練

正課として陸軍から配属された少尉による軍事教練があつた。「子供心に厳しい学校だなと思つた。勉強も相当

子供心に厳しい学校だと思つた

うるさくいわれたが、とにかく男らしくやれ、小さな声ではダメだとか、男だろ負けるなとか日常の規律には相当厳

しかった。「修学旅行で奈良・京都へ行った時、奈良の猿沢池で東京から来ていた他の学校の生徒と皆でけんかした」事があつたが、先生も「その位にしておけ」という程度で「とにかく男らしいことがウリだつた」。

学生である。「休み時間は裏の原っぱでよく相撲をとっていた」。「2年先輩のガキ大將に連れられてトイレでたばこを吸つた」「通学の時に電車で一緒にいる川村学園の女生徒や、住み込みの守衛さんのお嬢さんに胸ときめかせた」といった中学生らしいエピソードはいくつもある。なかでも「お昼に学校に運んでくる木村屋のコロッケパンがおいしかった」と目を細める。

先生の思い出

「校長は吉見乾海先生でした。海軍中將ですからね、格好良かつた。正月には帯礼服で『これから宮中に参内する』と言って出かけるのですが、僅れて見てました。『あの頃は先生にみんなあだ名をつけていた。英語からポケットを掃除しておけよ』と教えてくれた。

の先生はネイチャー、国語の瀬戸先生は古事記をもじつて乞食、海の合宿の太田先生は赤フン」。

226事件に遭遇

しかしそんな学園生活を取り巻く社会の状況は徐々に軍事色を強めていく。加藤さんは言う。「あとからあれがそうだったのかと分かつたのですが、4年生の時、学校に行こうと高田馬場あたりまできたら兵隊が『お前ら帰れ』て言うんだ。雪の日で戸山ヶ原に兵隊がいっぱいだった。それが226事件の兵隊だつた」

1936年(昭和11年)2月26日の陸軍青年将校によるクーデター事件をきっかけに日本は急転回、翌年には日中戦争に突入、その4年後1941年(昭和16年)に太平洋戦争へと突き進むのである。

昭和18年卒 福田賢三さん
昭和19年卒 小倉康弘さん



お二人が入学した昭和13年には国家総動員法、昭和14年には国民徴用令が公布されている。そして在学していた3年生の時、太平洋戦争がはじまる。「入学時は東西南北4クラスだつたが2年になると3クラスに



減つていた。当時理由はよくわからなかつたけれど、戦争の影響が強まつて家庭の事情で転校したり、体壊したり、勉強についていけなくなつてしまつたのではないかな」と福田賢三さん。小倉康弘さんは「陸軍や海軍の士官になりたい人が多かつた。最初から一般の大学に行きたいと言う人はいになつたんじゃないかな。肋膜をやつたり成績が悪かつたりした者が残念ながら大学に進んだ」といい、自身「体重が2キロ足ら

昭和十一年四月入学式に吉見乾海校長から「諸君は今日から稚心を去れ、学校はゼントルマンとして君たちを迎え入れる」と訓示され緊張したものだ。ところが日常は必ずしも紳士扱いされずに加藤生徒監に怒鳴られたり太田教諭に竹刀で小突かれた者も多々あつた。それは五年生の秋のことだつた。我々は学校の裏の戸山ヶ原は三角山(当時東京で一番高い山と云はれ三十米位の高さ)のそばで野外教練の授業中の出来事だ。ほふく前進、突撃訓練をして一時休憩の際当時配属将校の及川教官がクラスの井上君に向つて、おい井上!! 煙草を忘れたので一

軍事教練とたばこ

から井上君に呼び出しがかつた。不安な気持ちで向つた彼に對して先日は有難うと礼をいって授業は面白いが学科の得意は何かと尋ね、帰りに小倉で明日服装検査がある



蛇腹の制服

を綺麗に洗濯してきた者だけがもう一度ほふく前進させられたことがあつた。教練服は汚れてナンボと怒られた。また「富士の裾野の夜間演習で無くした薬莖を探せ」とう。暗くて見つからず帰つたら罰として我が分隊6名は夕食抜きだつた」。



千葉・下志津練兵場で聯合演習

ちよつと違つた記憶でした。だがそんな中、笹塚の軍需工場で勤務奉仕したとき、隣の東京女子学校の女の子が可愛かつたので声をかけたヤツが、先生にばれて『軟弱もの』とぶん殴られていたことがあつた」と小倉さん。

英語会話の授業がなくなる

日米関係の悪化に伴つて反米感情をおおる雰囲気が高まつてきた。他の授業は大きな変化はなかつたが「英語の先生は遠慮気味でしたね。英語の先生はたしか小暮先生、堀先生だつた」(福田さん)、「5年生になると英会話の授業があつたのですが、私が5

ず海軍兵学校を落ちたので早稲田に進学した」という。鞭で叩くのは当たり前

それだけに一段と学園生活の監督は厳しかつたようだ。「朝礼などで鞭を持つて叩くのは当たり前だつた」(福田さん)、「厳格な校風で門をはいる時は校章に敬礼をしていた。竹刀の竹一本を鞭として生徒を叩く太田先生がいた。配属将校はおつかなかつた」(小倉さん)とその思い出を語



校門で校章に敬礼

昭和20年卒 浜田謙一さん
昭和21年卒 岡和良さん



浜田さんと岡さんが入学したのは昭和15年。日中戦争の最中だがまだ社会は戦勝気分になつて浸つてゐた。入学した時は海城の制服が海軍兵学校のそれに似ているので皆得意然として街を闊歩して

た」と浜田さんはいふ。軍事教練が強化2年生の時、太平洋戦争が始まつた。「はじめはすごい戦果を挙げた、日本は強いなと思つてた。学校自体も大きな変化はなかつたし、授業も変わらなかつた。ただそのころから軍事教練が厳しくなつた」と浜田さんは開戦当時の様子を語る。岡さんは配属将校が「お前たちはお国のために戦ひ、この桜の花のように散るんだ」と叫んでいたのを思い出す。そのころから「兵隊としての求められる体力と運動能力の向上強化とい



松尾さん、浜田さん(右)

卒業式のなかつた時代

と思います。その当時は志願者の多い学校は名誉も上がるといった空気があつたようだ。岡さんも中学5年の春16歳で陸士に合格、卒業目前の20年2月に士官学校へ入学している。そのため入学時4クラスだつたが3年の時には3クラスに減つてたという。戦争の色濃く

岡さんはまたそのころ米国の爆撃機が学校の近くを飛行していったことを明確に覚えてゐる。「昭和17年の4月18日土曜日の昼過ぎでした。掃除当番で残つていた時飛行機の爆音が聞こえ窓に駆け寄つてみると目

けと通達が出ていた(岡さん)。卒業待たず軍へ

戦争が本格化し、3年生のころには制服は国民服にか

の前にサングラスをかけた飛行士の顔が見えたんです。飛行機が飛び去つたあとと高射砲の音と空襲警報が鳴つた」。あとからこれは超低空で偵察飛行してきたB25爆撃機の一機だつたと知つたという。

勤労動員

軍に行く同期生がいるなか、学校に残つた生徒は「4年の終わりごろから勤労奉仕に駆り出され、5年生のころは勉強はほとんどやらず工場だつた」という。勤労奉仕は担任の先生と一緒にクラス単位で行つたという。「東組は高安合資会社(後で東京軽合金に移動、南組は理研計器、北組は東京光学でした」と岡さんは派遣先企業まで覚えてゐる。生徒はその工場の正社員と同じ仕事をし、卒業後もそのまま動員され終戦まで続いた。そのため軍需工場だつたこともあつて戦争が激しさを増したころは空襲の危険にもさらされた。

思い出の先生

お二人共通して思い出すのは「尻叩き」の太田先生。「書道の先生だつたかな、顔を真っ赤にして叩くので赤鬼といつていた」(岡さん)。「授業中先生の質問に答えられないと、四つん這ひにさせられて、尻を突き出させて叩かれる」(浜田さん)。他にも叩くのは当たり前で「国語の先生も大きな扇子で頭をピシッとやる」(岡さん)、また「赤豚」

のあだ名が付けられている農業の有吉先生も有名である。

その他思い出すこと

岡さんは「運動会は東西南北クラス対抗でした。東組なら中1から5年までの東組が一つのチームを編成した。これは年代を越えての連帯意識を醸成していいやり方だつたと今でも思います。その運動会では『終わったあと先生を胴上げするのですが、嫌な先生は上に上げた後皆でさつと逃げて落としたことがあつた』。

「そのころ生活苦はなかつた、物資不足ということもなかつた。学校へは弁当を持てゐた。学校でパンは売つてなかつたと思う」(浜田さん)。「先生と一緒に食事をした。ある時先生の弁当を食つた奴がいたな(岡さん)。「修学旅行なんてなかつたです」(岡さん)「ロッテという名前だつたか今の場所に工場がありました。小学校もあつた。保養もありました。学校の近くに外国人の家があつた」(浜田さん)

結局この年代の人たちは途中で軍に入つた人がいたり、終戦まで勤労動員に駆り出されていたりして全員まともな卒業式もないまま「卒業したことになる」つた。平成10年10月、昭和20年の卒業生は卒業53年目にしようやく卒業式を行つてもらい卒業証書を手にした。



富士山麓で演習



海原会総会・懇親会 6月13日(土)開催です



創立125周年を間近にした本年の海原会総会は近年の活発化した多方面での活動の総括の場でもあります。グローバルに展開されている海外支部の活動や多様化した各種分科会活動など、海原会は人材の宝庫であり人材は学園の宝だといわれています。そして創立以来の長い歴史の間に生じる世代間のギャップをきちんと融合できる場でもあります。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

今年で6年目を迎える卒業年次表彰も1面掲載の如き内容で実施いたします。該当年次の方は誘い合せの上ご出席ください。記念品を贈呈いたします。

海原会副会長 石原長夫

第四回 海原会ゴルフ大会

昨年70余名のOBが集い、楽しく散会することができたゴルフ大会ですが、本年は第4回を迎えることとなりました。参加して下さいのすべての皆様にご満足いただけるように、実行委員会は尽力致します。奮って御参加下さい。



大会実行副委員長 荒尾純平 (S57卒)

開催要項

ゴルフコース **東武藤が丘カントリー倶楽部**

〒300-2615 栃木県栃木市藤岡町太田3857-1
Tel : 0282-62-0755

開催日時 **10月9日(金)**

会 費 プレー費 **13,550円**(※プレー費は若干の値上げの可能性あり)
参加費 **3,500円**
高齢者割引あり 受付で身分証明書提示
(65歳以上税500円引き、70歳以上税1,000円引き)

競 技 新ペリア方式

クラブバス 東武日光線板倉東洋大前駅
往き 7:25 8:30
帰り 表彰式終了後1便

申し込み方法

出欠はがき 会報に同封されている総会出欠はがきの下部に
ゴルフ大会参加申し込み欄があります
チェックして返送ください

ファックス 海原会ゴルフ会宛に送ってください
03-6233-9641

メール 海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」
から海原会ゴルフ会事務局宛へ送ってください
http://www.unabarakai.jp

申し込み締め切り **7月末日**

海城吹奏楽団 第22回定期演奏会

5月6日(水曜・祝日)
午後2時開演
なかのZERO大ホールで開催



今回のテーマは「音楽の旅に出かけましょう」ということで、演奏曲目はイギリスの海の歌謡曲や汽車の旅一鉄道ソングあれこれ、宇宙のかなたへ、ガリバー旅行記など。指揮は佐藤靖久氏。海城吹奏楽団はいまや海城学園のもう一つの「顔」になっています。大会場での堂々たる演奏を是非生でお楽しみください。入場無料です、

高校野球応援

昨夏の大会のレギュラーが多く残る海城高校野球部。春季大会では現行制度が始まって初めての一次リーグ突破。本戦出場を果たしました。今年はひと味違うかもしれません。

皆様の応援お待ちしております。夏の神宮で勝利の校歌を歌い上げましょう!

日程等の詳細は順次海原会ホームページで紹介していきます。



海原会サロン開設 9月19日(土)・20日(日)

今年も海城祭(学園祭)に合わせて開設します。昔の学園風景などが分かる貴重な写真展示や、様々な分野で活躍している海城OBを紹介するコーナーは会場を訪れる父兄にも好評です。また卒業アルバムの閲覧ができるようになっていることは、久しぶりに学園を訪れたOBが自分たちの時代を再確認し盛り上がる良い材料を提供しています。母校の変貌や隆盛ぶりを間近にみられる良いチャンスでもあります。海原会サロンを待ち合わせの場所として、また休憩場所としても活用してください。

(支配人 S33年卒 石原長夫)



海原会見学会 今年も計画してます

2011年の「記念艦三笠見学会」から始まった海原会見学会も今年で5回目となります。

年を追うごとに参加者も増え、特にご家族ぐるみで参加される方も増えて大きなイベントとなっています。今年の見学会は現在検討中ですが、例年通り秋(10月ごろ)に予定しています。真岡鉄道SL貸切列車や海城中学の日比谷校舎(昭和2年まで)にあった校門が移築されている千葉・九十九里を訪ねる見学会などを検討中です。正式に決まりましたら海原会ホームページなどで発表しますのでチェックして頂けたらと思います。

これまでの見学会

2011年 石川達也氏(S25年卒)が理事を務めていらした記念艦三笠を見学
12年 戦没画学生作品収蔵の無言館、窪島誠一郎氏(S35年)のお話を伺う
13年 鉄研OB会とコラボで伊豆急の貸切列車運行
14年 隅田川クルージング、回向院本多住職(S36年卒)のお話を伺う
(海原会見学会部長 S36年卒 杉山紘千佳)

「あの頃の新宿」にもタンゴが
「海原」No.39号、40号にS27年卒の山本満男氏が書いていた「あの頃の新宿」というエッセイを同年代の私として大変興味を持って拝読した。小生が本欄に投稿する気になったのはその山本氏が「名曲喫茶」の項目の中で、クラシック音楽やあらゆる音楽のジャンルの人と一杯のコーヒートとの関係で、長時間店の中でごろを巻いていた人が大勢いた話で、小生もその一人であったことである。

当時私は中学生であったが、今は世界した兄との懐かしい思い出のひとつである。兄は大学のクラシックファンであった。後に私が国立大学に席を置く身になった時にもこのような状況はあまり変わらなかったと記憶している。ただその頃「シャノン」「タンゴ」の愛好者が増え、一方「歌声喫茶」で代表される「フォークソング」が登場してきたのである。そして昭和30年頃の「タンゴ」の大隆盛につながってきたのでそのころの「タンゴ」を少し書いてみた

「一口にタンゴと言っても」
タンゴはコンチネンタルタンゴとアルゼンチンタンゴとの二つが一緒に言われていて、前者は大編成のシンフォニック・オーケストラによる演奏、後者はオルケスタ・ティピカ(標準編成)とコンフロント(少人数編成)によるものとに分かれ、タンゴファンはいわゆる「聴くタンゴ」と「踊るタンゴ」に大別されていた。そして歌詞は悲しい内容に満ち、メロディーはスタッカートに富んだ短調、日本人の好みに沿った音曲で戦後の日本に広まって行ったのである。

コンチネンタルタンゴはもともと欧州大陸を源とし、綺麗なストリングスを聴かせる演奏が命で、当時のソーシャルダンスの一つとして女性に人気であった。楽団も「バルナット・フォン・ゲッツイ」「アルフレッド・ハウェ」「マントバー」「ランド」など。しかしタンゴの発祥は欧州ではなくキューバの「ハ

「タンゴ」は復興期の一つの花であった
昭和28年卒 杵村義昭
たのである。それは何と言っても「バンドネオン」の存在によるもので、当時音楽評論家の高山正彦氏、高橋忠雄氏、帆足まり子氏など記憶されておられる方も多いと思う。また楽団では本場に、ホアン・ダリエソ、オスバルト・ブグリエセ、ボセ・バソ、フランシスコ・カナロ、アマール・トロイロなどなど錚々たる名手がおり、本邦

でも早川晋平、西塔辰之助、仲田修、志賀清、歌手では藤沢風子、前田美知子、柚木秀子、菅原洋一、国井敏成、阿保郁夫など枚挙にいとまがない。

タンゴ喫茶隆盛
一方タンゴ喫茶は新宿では何と言っても「シャンテ」であろう。本場アルゼンチンからの来演者も多く、また「まりも」「タンゲラ」「銀座でも」「パウリスタ」などいくつもの店があった。さらに特筆すべきはタンゴを特集したレコード会社、タム・コロムビア、ポリドールなどなど百花繚乱の体であった。

当時東芝はエンジェルレコードとしてEMI系の系列と米国「リバティレコード」と契約しており、音源を多く持つっており、国内の販路にも拡大政策をとっていた。その中でもタンゴファンをクラブに勧誘して前記の解説者などとの交流を図っていた。その「クラブ」が「ETPクラブ」であっ

た。ETPとは「エスト・エス・エル・タンゴ・ポルテア」の頭文字で「これがタンゴだ」の意味であり、その会員になることは名誉なことであった。

解説でアルバイト
学業の傍らタンゴにのめり込んでいた小生は、このクラブに入り勉強し、タンゴの解説者の仲間に入ることができた。後に実社会に入り本来技術畑(高分子化学専攻であったが、労務部門からの要請でレコードコンサートを開いたり、一般の喫茶店でのタンゴ解説のアルバイトを引き受けたりしたことも懐かしい思い出である。今思えば新宿のタンゴ喫茶が原点であったように思う。そして「あの頃の新宿」を読んで何か若返った気持ちになっている。

タンゴやフォルクローレに関してアルゼンチン、メキシコを旅した「吟遊詩人」の故高野太郎氏(アルゼンチンライプハウス六本木カンデラリアのオーナー)の話やタンゴについての雑学など興味ある話はまたの機会があれば書きたいと思っている。

学園カフェテリアで「成人式」 海原会も新成人を応援

1月11日（日）の成人の日へ、今年20歳になる平成25年の卒業生が学園カフェテリアで「成人を祝う会」を開催した。自治体の公民館などで行われる成人式に出るよりは、青春時代を共に過ごした海城の仲間たちと集まる方がいいという声が高まり、同年の卒業生有志が企画、呼びかけて実現したもので、海原会として石原長夫副会長が出席するとともに補助金と徳光和夫会長からの祝電を出してこの若い同窓生の活動を支援しました。

「祝う会」には卒業生の7割ほどにあたる約250名と恩師約10名が出席した。式は「祝う会」会の幹事の挨拶に始まり、徳光会長の祝電読みあ

げ、石原副会長の祝辞と続き、平成25年卒の学年主任であった森先生の「20歳ではまだ本当の大人とはいえない。もっと大きくなって来い！」という激励で乾杯、懇親会となった。

どことなくどこちなさが見えるスーツ・ネクタイ姿をお互いに冷やかしかるあう者、随分成長したと恩師に褒められててくれる者、「夢だった！」と恩師と肩を組んで写真に収まる者などそれぞれに楽しんでた。

来年20歳を迎える平成26年卒の有志も同様の会の開催を企画しており、今後この学園での「成人式」が恒例行事化してゆくかもしれない。特にこの26年以降は完全中高貫の下全員が6年間新大久保で学んだ生徒たちとなる。海原会として引き続き支援をして行く計画である。

（海原会広報委員会 国井）



海原会賞 2組4人に授与

サイバーセキュリティのコンペで最優秀賞を受賞

堀口修平君 中林 亮君 高橋秀行君

物理部の3人組である。サイバーセキュリティに興味のあった堀口君がシマネット社の主催するコンペを見つけて二人に声をかけて挑戦したという。課題はコンピュータプログラムのソースコードを渡され、その問題点を見つけ出し解決策を示せというものだった。なんだか部外者には想像のつかない難しそうな世界だが、3人とも「楽しかった」という。結果は問題点の発見数が一番多かったということもあったが、問題点の発見だけでなく、「その欠陥が悪用されたらどうなるか」ということをその解決策とともにレポートにした」ことが高く評価されたようだ。彼らにとってコンピュータはもはや手段にすぎない。3人とも目指すは生命、人間と機械を総合的に結び付けるようなシステムや制御の開発。進学も決め早くも夢を膨らませている。



多摩キャンパスドラマロケ地に

那須高原海城高等学校 教頭

平成3年卒

塩田 顕二郎



はいいもので東京で5度目の春を迎え、在校生徒は高2と高3の22名となりましたが、ナスカイ生らしい明るさと結束力は変わらず、多摩キャンパスは毎日にごややかです。

さて、いま校舎のある多摩市は、テレビドラマや映画、CMの撮影を積極的に誘致し、緑豊かな多摩市を広く知ってもらおうとアピールしています。

そこで、本校でもお世話になっている多摩市への協力ということから、授業等に支障がなく、作品としても問題がなければ、学校施設を撮影したいという要望をできるだけ受け入れていきます。



エキストラ出演の塩田教頭

- 入れています。
- これまで多摩キャンパスでおこなわれた主な撮影です。
- ① NHK朝ドラ『まれ』
 - ② NHK・BSプレミアムドラマ『461個のありがとう』
 - ③ ロッテ・ガーナチョコレートCM
 - ④ ヨコクロ新曲『Rain』dV
- ロケでは撮影の見学ができたり、出演者との集合写真などを撮っていただいたりするのとがあり、生徒にとっても多摩キャンパスのいい思い出になればと思います。

平成27年度 那須校大学入試結果 (卒業生17名)

国公立大学		私立大学	
大学	総数	大学	総数
高知大学	1	亜細亜大学	1
		岡山理科大学	1
		関西大学	1
		北里大学	1
		京都美術工芸大学	1
		聖学院大学	2
		成蹊大学	1
		千葉工業大学	2
		帝京大学	1
		東海大学	4
		東京経済大学	3
		東京工科大学	8
		東京福祉大学	1

文部科学省管轄外	
大学	総数
海上自衛隊航空学生	1

退職されます

「準備」と「時間」を大切に

体育科教諭 斉田美雄 先生

斉田先生は海城高校を昭和43年に卒業し、教員としては昭和48年に体育科非常勤講師、翌年の昭和49年から専任教諭として海城高校に勤務されました。

長い海城高校との関わりの中で、印象深いこととありました。



高校時代から柔道をずっとやってきましたが、小さな学校の中で、高校から通算6回、教員になつてから5回柔道場が変わりました。プレハブの柔道場がなつかしいですね。

先生が海城で特に力を入れていたことは何ですか。

専任教諭としての40年は大きく4つに分けられます。25才から35才までは、生活指導部・生活指導部長として生活指導を中心に活動しました。35才から45才までは東大入試成績を上げること必死でした。子供たちには随分無理を言ったと思います。45才から55才までは高体連柔道部の専門部長として学外の活動を頑張りました。そして最後の10年間は入試委員会の委員長として海城の入試関係に力を入れました。

ずっと40年間、私が教えたかったこと、それは「準備」と「時間」です。「準備」とは目の前の準備・2年後の準備・一生の準備、これらをしっかりと意識を伝えたいと思っていました。また、「時間」に関しては、24時間をどう使うかという点を重視し、何事にも遅れない、時間を無駄にしないということに大事にしていたつもりです。

昔の生徒と今の生徒とは違いますか。

本質は変わらないですね。自分が若いときは若い目で見た子供。今の年ではそれなりに違っていますが、今の子の方が冒険心がないように思います。

柔道の指導をしていても、今の生徒は安心して見ていられます。以前は、柔道で投げ技などを指導していても、生徒たちはいろいろな自分で工夫してんでもないことをする。だから必死で見ていると危ないのです。今の生徒は言われたことしかしません。おそらく、小学校時代に体を動かしていない。木登りなど体を動かす中で育っていない。ですから、動くことを工夫するといった冒険心がないように思います。

卒業生へ一言お願いします。

卒業して大学・社会に行くにも、一日は24時間しかないのですから、人生を全うするまで「準備」をする。「時間を大切にすること」を肝に銘じてください。

★先生のご退職を祝い、教員になったころの柔道部のOB会があると聞きました。その時の生徒たちも55才だそうです。先生は、「昔の卒業生たちと語らうのが楽しくて、皆が偉くなっているのが嬉しい、教師冥利に尽きるね」とおっしゃっていました。

聞き手 村山雅之（昭和52年卒）

海城四十一年

音楽科教諭 斎藤猛美 先生

斎藤猛美先生は、昭和49年4月から非常勤講師14年・専任教諭27年併せて41年海城で教鞭を取つていらっしゃいました。41年間の思い出などを伺いました。

海城四十一年間で思い出に残っていることは

まず生徒会指導部として体育の田中政一先生と運動会の種目などについて話し合ったのを覚えています。そのほかにも昭和56年頃に校長・理事長に頼まれて、校歌録音のテープを作ったことを思い出します。編曲者を頼んだりコーラス



や吹奏楽の手配、スタジオの準備なども一人でやりました。そのあと、昭和61年に池田健一・福島半一先生とともに吹奏楽団を作ったのが、思ひ出深いですね。最初のころは経験者もいないので、生徒集めから始めました。まっさらなところから作る大変さを感じました。音楽の方の指導は、佐藤靖久先生にお願いし、それ以外のことや、練習の仕方などを担当しました。平成27年は定期演奏会22回目を迎えます。卒業生の皆も是非開きに来てください。

海城の担任としての思い出はありますか。

担任は、高1と中学だけを担当しました。音楽という教科の関係で、中学生が中心で高3の高3の担任はやらなかったです。ですから、担任として卒業生を一度も出していません。中学担任の時に、京都・奈良方面に修学旅行にいったのが思い出として強くあります。今と違って中学生の人数も多くなく、ちゃんとした旅行でした。

昔の海城生は今と随分違いますか。

昔の海城生は豪快だったという記憶があります。おそらく私の年齢も違うので当然お互いの印象も違ってくると思いますが。

吹奏楽団以前のクラブは何をやっていたのですか。

合唱部の顧問もしていました。あのころの合唱部は楽器との混合だったと思います。何回か、演劇部と合同で河口湖の夏合宿をしました。

覚えてます。皆で高速バスを使って行きました。私中村も演劇部の顧問として行きました。最後にこの「海原」を読んでいる卒業生に一言お願いします。

生徒の皆には、40年間お世話になりました。これからどんなジャンルであれ、音楽に親しみ、将来にわたって音楽が好きになり充実した人生を送ってください。

ありがとうございました。

聞き手 中村久憲（昭和48年卒）

自分で行って自分で見てこよう

社会科教諭 福田耕司 先生

福田先生は海城に43年間教諭として勤務されました。

きません。まずは新鮮な目で行ってみる、次に文献や資料などをきちんと調べ、それからもう一回行き、さらに確認のためにもう一回行く。例えば、3・11で福島県いわき市が気になり、震災後に訪れました。2014年3月11日に二回目、2015年3月11日に三回目の訪問をしています。資料集めもあつて今年中にもう一回行きたいと考えています。他にも、岐阜の高山・南紀・与論島・富士山など、何度も繰り返し訪れている地域がたくさんあります。

現地に行くことの大切さを最初に教えてくれたのは父です。小学生のとき、父に連れられてフツサダナを南から北へ迎る旅をしました。週間以上の行程でしたが、そのときだけですべて踏破することはできません。その後、自分で何度も行っていますが、完全踏破にはあと5〜6年はかかると思います。

視聴覚部での仕事を長年してきました。初めは8ミリカメラの時代でしたが、それがVHSビデオ、さらにDVD、ブルーレイディスクになり、それぞれに対応した機材や資料を整備してきました。授業でも、試験問題やプリントをかつてはガリ版で作っていました。振り返ってみると、機材や用具の変遷をずいぶん体験してきたことになりますね。

力を入れてきたことといえば、担任をすることです。こたわってききました。

「担任なんて教員はない」という思いです。部活動では、中学サッカー部や写真部の顧問をしてきました。サッカー部では、ちよと海城が創立100周年を迎えた23年前、初めて都大会に出場したことが思い出深いです。

地理の先生としてどんなことを大切にされてきましたか。

とにかく「自分で現地に行つて見てくることが大切だ」と思います。同じ地域にとをやらせと教わりました。地域にこだわり、地域をいっくしみ、地域の様子や変化を見とどける福田先生の旅は、退職後も日本全国・世界各地に続いていくことでしょう。

聞き手 立川和平（昭和63年卒）



聞き手 中村久憲（昭和48年卒）

中田直文先生（国語科）、水谷 弘校長も退職されました。

われら 海城人

「結納」の大切さを
教えるのは、
元ボディビルダー！

永竹久雄 さん

ながたけひさお 昭和33年卒



冒頭の写真をご覧ください。俳優？モデル？いえ、今も現役のデパートマンとして活躍されている、永竹久雄さん（昭和33年卒）の高校生当時の姿です。ご専門の話に移る前に、まず若き日の永竹さんをご紹介します。

ミスターボディビルダー

1955年海城高等学校に入學。運動が好きで陸上、柔道、空手、バスケットボールに挑戦するも、2番手止まりで納得できず。トップの座に拘り、たどり着いたのはなんと、ボディビルディングでした。



質実剛健な校風にならい心身共に鍛えようと、自宅の庭に手作りのトレーニング器具を揃え、授業中も前の椅子に足をかけて腹筋を鍛えるなど徹底して鍛え上げ、一年で逆三角形に「変身」。

1956年1月に（旧）日本ボディビル協会主催で開かれた初の全国大会「ミスター日本ボディビルコンテスト」に東京都代表として出場して最終選考に残り、協賛した日本テレビに出演のほか、新聞や雑誌にも掲載されました。ファッションモデルとして誌面を飾ったこともあったそうです。

一方で美術部にも所属され、自宅が近かった故・利根山光人先生に師事しました。お母様の影響で日本舞踊（西川流）も学ばれ、多彩な才能を開花させた青春時代だったようです。

「京の作法」を学ぶ

1962年に入社したミシン会社における百貨店課課長の経験を買われ、1972年に東武百貨店に中途入社。

東武百貨店ではゴルフ用品やスポーツ用品の係長、婦人服飾雑貨部や呉服部等のマネージャーを経験されましたが、呉服部時代に本場京都で「京の作法」を学ばれたことが後のキャリアに大きく影響します。

1995年に「親切一番店」を掲げる社長の命を受け、（旧）儀礼O&A相談コーナーの新設に携わり、現在に至るまで冠婚葬祭についての儀式、しきたり、作法、マナー等のコンサルティングを行っていらつやいます。1998年頃にはこの職場が日本テレビの「ズームイン！朝」で紹介されたそうです。

儀礼コンサルタントのほか、フォーマルスヘンヤリストという資格も持ちの永竹さん。最近では来店者向けの助言や東武百貨店内のマナー本制作に留まら



状況なのだが、その一方で、ペットの数は減っている。さらに、「獣医を目指す学生」の80％が開業志向」という現状をみれば、これから動物病院の経営は厳しくなると飼沼さんはいう。

事実、ペットブームの絶頂期だった2000年代のはじめに比べて、飼い犬の数は激減している。また、大種もゴールデントリバーから、チワワなどへと小型化しているのも特徴のひとつだ。

飼い猫の数は犬ほどではないものの、やはり減る方向にあって、今年、2015年には、飼い犬の数が減り続けたことで、飼い猫の方が多くなると予想されている。

ペットを取り巻く環境も変化

ペットの小型化によつて、難しくなる

国の南カリフォルニア大学への留学である。そこに月面基地建设に必要となると考える3Dプリンター技術の最先端研究室があるからだという。それも「はじめメールで連絡したが返事がなかったので、直接学校まで行つて主任教授に直談判しました。英語で必死に私のやつてきた事やアイデアを説明し、その場でOKを取りつけました」。

「今天文学の分野では月の裏側に望遠鏡を設置したいというのが最大の夢なんです。その実現のためには望遠鏡を稼働させるための発電設備が必要ですよ。もし月面で大型構造物を造れる3Dプリンターができればそれも可能になるのです」と早くも古賀さんは目を輝かせている。

数学が好きだった

古賀さんは小学校のころから算数が好きで得意だったといいます。「数学は勉強しなくても大丈夫という変な自信がありました」。中学では模型部、高校時代は野球部。「野球は初

のが手術だ。体が小さい分、緻密さが要求される。飼沼さんは「レントゲンで外科的な症例の90％は診断できまずし、単純な手術なら引き受けますが、治療の部位によつては得意分野としている仲間の獣医を紹介したり、より高度な診察が要求される場合には、大学病院とか、MRIやCTを備えた病院にお願いする」のだという。

変化する社会環境は、飼い主ばかりでなくペットにも及んでいるそうだが、以前は、「動物病院で飼っている猫や犬の血液を輸血用に使っていました」が、今では考えられません。そんなことをし

たり、動物愛護団体などから大変な苦情が寄せられる時代になっている。

ペットの病気の種類も変わった。最近多いのが、飼い猫では、尿路結石症や胃と腸の不調、飼い犬では皮膚炎やアレルギーなど。まるで、人間のストレス社会が、ペットに伝染しているののような様相を呈している。

ペットという小さな生命と向きあう最前線が動物病院だ。その動物病院で院長を務める飼沼さんによつて、獣医は「自分の思いを形にできる」仕事なのだという。（大町一夫 記）

小さな生命と向きあう 動物病院の院長先生

飼沼 亨 さん

かいぬまとおる 昭和48年卒



一直線に獣医への道を歩む

飼沼さんが、獣医を目指すようになつたきっかけは、「家庭教師が農工大

の学生で、動物の出産や飼育の現場を見せてくれたこと」だった。もともと、動物が好きということもあり、北里大学の畜産学部（現在は獣医学部）に入學した。

大学は、男女共学。しかも薬学系の学部があるため、約6割は女子という「校則が厳しかった男子校の海城」とは、まるで違う開放的な雰囲気を感じず、日々が始まった。

北里大学では、1年生は相模原キャンパスで学ぶのだが、畜産学部の2年生からは青森県の十和田キャンパスに移るようになつても、それに積める容量大ききの限界もあります。ならば月で現地調達、現地生産できないかというところに行きついたので。結論だけ聞いてみればコンプスの卵みたいな話だが、なにかブレイクスルーすると言ふことはこういう事なんだと思わせる。単なる思い付きではない。

「本当に実現したいと本気で考えていました。どうしたら可能なのかと。月面に大型構造物の構築を実現することは自分のライフワークとしてやろうと思っていました」という本気度から生まれたものだ。

実現に向け次のステージへ

「コンテストに参加したことで今の時点ですべて実現可能かがはつきりわ

なりました。さらに必要なものやデータなどを実現するために不足しているものをかなり明確に整理することができました」と早くも実現に向けて次の段階へ進む事を決めている。古賀さんが次のステージとして選んだのは米

「月面に基地を造る」 をライフワークに

東工大修士2年

古賀洋一郎 さん

こがよういちろう 平成21年卒



そのアイデアは簡単にいえば月にあるもの、鉄とかタンとかを材料にして、月面で建材を造るところから始めるというものである。「宇宙ロケットがいくら低コストで確実に打ち上げられ

衛星設計コンテストで受賞

るようになつても、それに積める容量大ききの限界もあります。ならば月で現地調達、現地生産できないかというところに行きついたので。結論だけ聞いてみればコンプスの卵みたいな話だが、なにかブレイクスルーすると言ふことはこういう事なんだと思わせる。単なる思い付きではない。

実現に向け次のステージへ

「コンテストに参加したことで今の時点ですべて実現可能かがはつきりわ

なりました。さらに必要なものやデータなどを実現するために不足しているものをかなり明確に整理することができました」と早くも実現に向けて次の段階へ進む事を決めている。古賀さんが次のステージとして選んだのは米

ず、ホテル従業員向けの研修、他の百貨店向けのホットラインとしても活躍中です。

「日本文化の伝承」が天職

店内では結納品を多く扱われますが、一言に結納と言っても地方により内容は大きく異なり、分厚い図鑑が存在するほど。その全てを熟知して細やかなコンサルティングをすることが求められます。

結納は「形式を整えて心を送る」婚姻の契りの印であり、「心は見えないけれど、心遣いは見える」と言われるように、男性側の家からの丁寧な挨拶、その感謝と誠意は、ずっと女性側の家に覚えられているものだと言竹さんはおっしゃいます。

満75歳の今も「日本文化の伝承を天職と捉え、今後も結納を中心に感動を与えるお話を心掛けたい」と熱く語る、永竹さん。誇るべき大先輩です。（岡本浩太郎 記）

めて、一からはじめました」。授業と別に英語の私塾には通っていたが、大学受験を意識したのは2年も10月ぐらいになつてからといひます。「はまる

となんでもやるんです。野球もそうでした、やっている事が楽しくて。面白いからやっている感じです。受験も野球で体力はついているし、英語はやっていたので・・・」。勉強の遅れも一気に克服して現役入学を果たしている。相当な集中力だ。

集中力は将棋から

そう言えば小学校のころ祖父に教えられた将棋が今も趣味だという。大学時代有段者になった。古賀さんの先を読む力、一手一手詰めてゆく作業とその集中力、そして決断力は将棋から来ているのかもしれない。局面打開のひらめき、予想外の思わぬ一手というのも将棋の世界でよく聞く。宇宙開発の新しい展開が見られることになるかもしれない。（小西洋也 記）

海外だより 海城OBは世界中で活躍

【ロサンゼルス】

鈴木健弘さん（H17卒）が学ぶ UCLA 公共政策大学院では、旅行会社を経営する宮田稔丈さん（S45卒）の協力を得て、今年3月に米国人学生が来日して日本の政策を学ぶ「ジャパントリップ」を実施。海外でも海城OBのつながりは貴重で大きな力となっている。

【上海】

海原会メディア会の会員でもある 新山浩康さん（S59年卒）が上海市を拠点に活動しています。主な仕事は中国人向け子供番組や教育映像等の制作、放送、販売。「中国に関わることがあれば気楽にお声掛けください」とのことです。

【フロンペン】

日本でも注目が高まってきたカンボジアの首都フロンペンでも海原会フロンペン支部が結成されています。メンバーはカンボジアでおよそ20年仕事をしているカンボジアビジネスの権威、小市琢磨さん（H55年卒・写真左端）と3年半前から駐在している私、岡崎宏幸（H33年卒・写真右端）でしたが、今回新たに昭和53年卒の北野岳先輩が加わり支部の正会員は3人となりました。北野先輩はカンボジアで広告代理業の会社を立ち上げ、まだ未整備の業界を発展させ、カンボジアで一番の会社になるべく日々奮闘されています。北野先輩は4年の時は新田先生、

【ロンドン】

昭和57年卒の石崎二郎です。2012年6月からロンドン在住で間もなく丸3年になります。妻の転勤に伴い、たつての依頼で会社を辞め現在専業主夫をしながら欧州生活を楽しんでいます。（笑）※写真は昨年9月に参加したベルリンマラソンのコマ、ドイツ国会議事堂前。



【バンコク】

バンコク支部長の宮本裕一郎さん（H77年卒）からの報告。3月2日にタニヤの「酒の店」という店で海原会バンコク支部の歓送迎会を行いました。

インドネシアに栄転される服部康治さん（H55年卒）の送別と新しくバンコク支部の会員になられた田中祐爾さん（S62年卒）の歓迎です。服部さんはジャカルタでも海原会をつくると意気込んでおられました。さすがバンコク、東南アジアの要です。離れていく方もいらつしやれば新たに参加される方もいらつしやいます。バンコク支部に参加希望の方は海原



会ホームページの「海原会へのお問い合わせ」で連絡を通して連絡ください。写真は右から木村真さん（H77年卒）、宮本、田中さん、服部さん、小原英志さん（H66年卒）

【シドニー】

豪州最大都市のシドニーにも海城の仲間が集い始めています。現在はまだ2名（山下卓也（S60卒）、小林篤史（S62卒））の集まりですが、シドニーだけでなくオーストラリアで活躍される海城の仲間の方がいらしたら、ぜひ海原会まで連絡を！（山下卓也）

【ジャカルタ】

H5卒の服部康治です。今年の2月からジャカルタに駐在しています。インドネシアの人々は非常に親日的でJKT48も地元では人気があります。ジャカルタにお越しの際は是非ご報告下さい。



【パリ】

パリ島にお越しの際は「Les Sols Calcaires」へ。フレンチ、インドネシア料理を提供。私の本業はソムリエです。空港から30分。サンセット、雄大なUluwatuの自然を楽しめます。（S62卒 今井孝英）



【ホーチミン】

海原会のベトナムツアーを企画中。ゴルフ組・観光組に分けた日程案を考えています。

ホーチミン空港の北側にオープンしたばかりのタンソニヤットを取材を兼ねて回って来ました。フェアウェイが広いですがグリーンに近付くに従って難しくなっています。今日は40℃でしたが、秋冬は涼しいです。（S37卒 梶 宏光）



ている。あれから55年もの歳月が流れたのである。それを記念して、今回卒業55周年」と冠をつけた同期の集まりをした。

平成26年10月19日の日曜日の午後、会場は地下鉄「表参道駅」の近くにあり、ホテルフロラシオン青山”羽衣の間。集まったのは36名。最盛期には57名が集まり、2年半前の前回開催の際も46名の友が顔をそろえたが、これまでの最低人数になってしまった。定期的に旅行の予定が既にあつたり、年齢的に体調を崩していたりで、欠席者が増えたりといと推察している。

卒業周年記念会には、毎回母校から

海原メディア会

新体制で3年に



2月7日、海原メディア会の第三回総会を開催し、会長交代のほか役員の人れ替えを行い、新たなスタートを切りまし

た。新会長に田所直喜氏（S58）が就任、副会長に植松孝行（S58）、松長哲聖氏（S62）、松下憲氏（H10）、安本圭祐氏（H16）の4人が新たに加わり、元気のよい若手を中心とした執行部体制となりました。早速田所新会長の下で新たな発想と若い人たちのネットワークを活かした形でのいろいろなイベントが検討されています。2か月に1回程度のミニ懇親会もやっています。会員以外でも関心のある方は参加OKです。メディア会ホームページもありますアクセスしてみてください。<http://www.unabaramedia.com/>

海原士業会

5月に総会を予定

1月16日（金）に丸ビル35階サンス・エ・サヴールにて、海原士業会の新年会が行われました。

●日時 5月23日（土）17時
●場所 海城学園内の第会議室
※総会の際に、懇親会を予定しています。

海原士業会では新規会員を募集しています。興味がおありの方は、海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ」・「ご連絡」からお問い合わせください。



医業会

垣根越え交流



海原医業会では12月6日に海城学園にて忘年会が実施しました。それぞれの医療現場の交流や、最先端の研究に関する意見交換など、早くも会員の中では出身大学の垣根を越えたネットワークができています。

次回、5月の総会には以下のスケジュールで実施します。

●日時 5月30日（土）16時
●場所 海城学園内の第会議室
●会費 4000円

※学内の駐車場は使用できません。学園近くに駐車場はございます。

海原医業会では新規会員を募集しています。興味がおありの方は以下からお問い合わせください。

①中山沢（H21卒）：takunakayama229@gmail.com
②海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ」・「ご連絡」

海志会

1月に総会を開催

去る1月30日（金）、現職の政治家や公務員等から構成される海志会の2015年総会及び懇親会が、19時30分から「はなの舞霞が関コンドミ

西館店」において開催されました。



冒頭、宮沢会長からの挨拶の後、乾杯の発声に続き、まず懇親会に入りました。三々五々集まりはじめ、最終的に8名の会員が参加しました。懇親会では、お互いの仕事の話や身の上に関する話をするなど、話題は多岐にわたり、普段知ることのできない内容も含まれていて、たいへん面白く感じました。最後に、活動報告及び会計報告を行った後、総会及び懇親会はお開きとなりました。海志会では、随時会員を募集しております。本会への入会をご希望の方は、海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ」・「ご連絡」からご連絡ください。なお、ご連絡の際は、必ず勤務先をご明記ください。

古賀理事長に御来臨をお願いしているが、今回も御多用の中からお出で頂き感謝感激である。45周年、50周年に近づいて3回目である。

まず、ロビーの会談を離壇にして記念の集合写真を撮影。その後宴会場にぞろぞろと入り着席。幹事の開会挨拶に始まり、御来臨いただいた学園理事長の古賀先輩のご挨拶。先輩は一期上の学年でもあり、我々は特に近しく感じている。お話しは、今の海城生気質と我々の時代との相違から始まり、現在の海城教育の方針、これからの海城学園の進もうとする道の方

の皆さまも共感の頷き、微笑み、関心の表情で満ちていった。その後は、物故恩師や同期の友に捧げる黙祷、我々の健康と活躍、海城学園の発展を祈念しての乾杯と型どりに進めて歓談タイムとなる。

歓談タイムでは、各々が寿司、刺身、煮物、天麩羅などの和食中心の料理に舌鼓を打ちながら久しぶりの再会を楽しみ、昨今の話題で時が流れていった。しばらくして、司会者の進行で参加者全員がクラスごとにセンターマイクで呼び上げられ、一言スピーチ。会場の一体感が感じられる一時であった。

（市川武昭）



海原三四会 卒業55周年で集まる

昭和34年2月、あの当時校門を入って右側にあった「講堂」にて卒業式を挙げた。外は寒かったが、講堂の中は人いきりで温かさを感じたことを覚え



昭和41年 中学卒同窓会 羽田先生を囲んで

2月15日、羽田昶先生を囲み昭和41年中学卒業の同窓会を新大久保駅前の鳥良にて開催しました。羽田先生は5年間の海城学園で勤務の後、開成高校に移られ9年、その後東京都文化財研究所で定年まで勤められ、武蔵野女子大学教授に就任されました。現在は客員教授として、能・狂言の研究・評論で75才ながらも第一線でお元気に活躍されています。

約50年ぶりに再会を果たしたメンバーもいて、お互いの変貌ぶりに感動の喚声が上がっていました。参加者は、熱田誠・岡川清明、勝又保、諏訪間忠、千賀孝雄、安藤直憲、飯田栄、今澤清、梅村昇、小坂純、河野直樹、酒井隆光、佐藤寛雄、鈴木政広、大工原光男、武本圭司、古館直樹、堀越昇の18名でした。

次回開催は来年の2月6日(土)に決まりました。詳細は改めて連絡いたしますが、半数近くの方の連絡先が不明です。問い合わせは、senga_takao@outlook.com へ。(千賀孝雄)



昭和47年卒 大澤組クラス会 40年ぶりのクラス会

平成26年11月8日、昭和47年卒業大澤組のクラス会が開催されました。卒業以来42年、大澤先生を迎えてのクラス会は初めてで、クラス会そのものも40年ぶりでした。卒業生49名のうち20名が出席し、大澤先生を囲んで懐かしく楽しく時間を過ごしました。

卒業後初めて顔を合わす人も少なくない状況でしたが、42年の隔たりも難なく乗り越えて、あつという間に時間が経ち、二次会へとなだれ込んで旧交を温めました。今回のクラス会は、数名の幹事役が尽力してくれたおかげで開催できたのですが、とくに壺井君が4年ほど前から海原会への参加を同級生に呼びかけてくれたので、数名ずつ顔を合わせることで、クラス会開催の環境が整いました。壺井君はじめ幹事の皆さんに感謝していただきます。これを機に、今後クラス会開催のめどが立ちました。次回のクラス会もまたご報告いたします。(志田忠弘)



昭和62年卒 同期会 小林先生の墓参

3月15日(日)に社会科の小林先生の墓参と同期会を行いました。



2012年に急逝された小林先生の葬儀の際には多くの同期が集まりましたが、仕事だった、連絡がつか

その後、海城学園のカフェテリアにて同期会の1次会。毎年顔を合わせる者もいれば、30年ぶりの者もあり。久しぶりに顔を合わせた仲間からすっかり忘れていたエピソードなどを聞くと、恥ずかしいやら初心に返るやら。近況報告を聞くと、お互いの人生に年輪が刻まれたことに気づかされました。今回は、途中で北海道に帰った者から仕事を終えて2次会から参加した者まで合計30人の仲間が集いました。我々は再来年に卒業30周年を迎えます。そのときに向けて同期の輪をさらに広げていきたいと考えています。(国井信男)

平成4年卒 第1回「ゲンジ会」開催

中学、高校の6年間のうち、中学3年間を担任でお世話になった医者、中学3年間英語を習った建築家、高校2年間を担任でお世話になった起業家、そんな3人とゲンジ先生で、去る2015年4月16日、新大久保の焼肉店(1次会)・西新宿の居酒屋(2次会)にて第1回ゲンジ会を開催した。1986年4月、先生は23歳、僕らは12歳だった。新米先生とピカピカの1年生。

そして、それから30年近く経った2015年、ゲンジ先生が教頭先生になられたという。この4月に就任されたことを照れくさそうに語るゲンジ先生は、あの日のままだった。でも先生はこうおっしゃる、「君たちを教えたころの自分は、ヘナチョコだった」と。



自分のことを「ヘナチョコ」と言える人へ「ヘナチョコなんていない。先生が教頭になられたことを僕たちは誇りに思います。先生も我々も、これからが本番ですね。行け！ゲンジマン、ゲンジスパーキだ！」(橋本圭司)

平成14年卒 学年同窓会 毎年1月開催予定

1月17日(土)に毎年恒例の学年同窓会を母校カフェテリアで開催しまし

を設けて友人たちと語りあい、先生方に激励の言葉を掛けていただくのを楽しみにしています。

海原会の諸先輩方に比べれば青牙の私達ではありますが、グローバルな社会というまさに大「海原」へ漕ぎ出そうとする若人をどうか温かいまなざしで見守っていただきたいと思います。(渡邊 朔)

OB会

野球部OB会

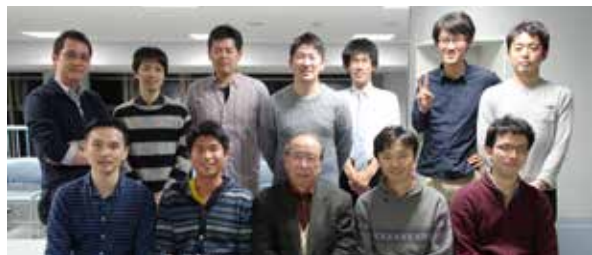
PTA・現役生会ソフトボール大会

1月11日(日)海城学園グラウンドにおきまして野球部OB会のソフトボール大会が行われました。

今回は野球部OB・PTA・前監督という海城野球部を応援する幅広い方々の参加をいただき、そこに現監督と現役海城生を加え、4チームでのリーグ戦を行いました。

当然優勝は現役海城生チーム！と言いたところでしたが、優勝したのはOBとPTAの混成チームでした。OBの主体が海城を夏の予選へスト16まで引つ張った平成23年卒であったことと、OBの多くが大学でも野球を続けたバリバリの現役だったためです。飛ばないはずのソフトボールの球を軽々とフルにたたき込むのは圧巻！

そういえば、今年の六大学野球の新人戦では東大野球部に海城OBが2人エントリーされて、うち1名が出場したとのこと。現役生にとっては夢の続きを追い求めるOBの偉大さに触れ、さ



た。今年は、物理の関野先生にもお越し頂きました。久々に参加する方も多く、異動や転職を経験して社会人としての幅が広がっている様子が窺えました。また、結婚した人や子供を持つ人も増えてきて、時の流れを感じる同窓会となりました。学年同窓会は、今後も毎年1月に開催予定です。在学時にはあまり話した事がなかった人とも意外と話が弾むものなので、是非ご参加ください！

案内の葉書きやメールが届いていない方は、kaji2002@googlegroups.com までご連絡ください。また、Facebookに「海城高校2002年卒」というグループがありますので、是非ご参加ください。(矢野祐規)

平成20年卒 学年同窓会 6年ぶり76人参加

2014年12月27日土曜日に高田馬場「Cafe Cotton Club」で平成20年卒の同窓会を開催しました。(英語科)村上先生、高津先生、横井先生を交え、1次会には76人が、2次会には(国語科)村上先生を囲み37



らに高い目標を見つけたことができたのではないでしょう。3月には東京ドームにて行われた関東学院高校OB会との交流戦でも見事に逆転勝利した海城野球部OB会。マスターズ甲子園に参加しようかとの声も上がり始めました。

鉄道研究会OB会 新年会 鉄分の濃い話で盛り上がる

毎年恒例の鉄道研究会OB会の新年会が去る平成27年1月10日(土)に開催されました。今年も現海城鉄道研究会顧問の井口先生を始め、昭和34年卒の大先輩から平成24年卒の大学2年の若手、そして初参加の先輩方3人が加わり総勢32名の皆様にご出席を頂きました。

新年度以降のOB会の活動について幹事の報告から始まり、その後は各々海城を卒業してからも全く衰えない鉄分の濃い話(鉄道話)や中高時代の

人の参加でした。

6年ぶりの再会だけでなく、「はじめまして」の声もあちこちで聞こえるなど活発な同窓会となりました。(津村大樹)



平成23年卒 高校3年1組クラス会 最大の関心事は進路

去る1月11日、JR大久保駅近くの中華料理屋「食味鮮」にて平成23年卒・高校3年1組の同窓会を開催。

実はこの一か月後に学年全体での同窓会がFacebook上で計画されていたとのこと、その情報を全く知らなかったアナログ幹事により、我々が1組だけ少々フライングしての顔合わせとなりました。ズボラな私の急な呼びかけにも関わらず、担任の山本先生以下20名の懐かしい顔ぶれが集結。久方ぶりの再会に大いに盛り上がり

平成23年卒 学年同窓会 レポート授業今も羅針盤

去る2月21日の夕方、海城学園のカフェテリアで海城高校平成23年卒の同窓会が開かれました。参加者は100名以上を数え、立食パーティー形式で恩師や旧友との歓談の一時を楽しみ、最後は大所帯がぎゅうぎゅうと身を寄せ合つて集合写真を撮影しました。

当時の学年主任で現教頭の中田大成先生や、2009年の定年まで総合社会科でレポート授業の教鞭を取られた目良先生らが開会の挨拶を述べました。「退職して」のんびりしようと思っていたら、四年前3・11が起きて：「と始まった目良先生の言葉は、私達の門出が東日本大震災の発生直後であったことを今一度思い起こさせるものでした。



あの震災から4年経つたいま、国内外の情勢は一層先行き不透明になりつつあります。特に若い世代の間では閉塞感すら漂っているとも言われますが、目良先生が提唱したユニークなレポート授業をはじめ、「己の足で見聞を広め、自分の頭で考え、行動する」生き方を尊ぶ海城学園で育まれた私達にとつては、むしろこれからの時代こそ活躍する好機なのかもしれません。

再会した同窓たちもかつてのやんちゃな雰囲気を残しながら、就職や留学、起業、国家試験受験などそれぞれの道を確かに歩み出しているようです。将来のビジョンを熱っぽく語る言葉の節々に、学園の教育が羅針盤のように各人の胸に息づいているのを感じました。しばらくは忙しくなるかもしれませんが、また一堂に会する機会

合格おめでとう
ございます

国公立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 合計 56 (現役43, 卒業生13)	文科一類	9		7		2	
	文科二類	12		8		4	
	文科三類	8		5		3	
	理科一類	14		12		2	
	理科二類	8		8		0	
	理科三類	3		1		2	
	後期(理Ⅲ除く)	2		2		0	
京都大学 合計 6 (現役3, 卒業生3)	文	1		0		1	
	法	0		0		0	
	経済	2		1		1	
	教育	0		0		0	
	総合人間	1		1		0	
	理	0		0		0	
	工	1		1		0	
	医	1	1	0		1	
	薬	0		0		0	
	農	0		0		0	
一橋大学 合計 17 (現役14, 卒業生3)	法	4		4		0	
	経済	3		2		1	
	商	6		4		2	
	社会	4		4		0	
東京工業大学 合計 9 (現役7, 卒業生2)	第1類	0		0		0	
	第2類	1		1		0	
	第3類	1		0		1	
	第4類	4		4		0	
	第5類	3		2		1	
	第6類	0		0		0	
	第7類	0		0		0	
北海道大		2		1		1	
東北大		7	3	4	2	3	1
秋田大		1	1	1	1	0	
筑波大		11	6	6	3	5	3
群馬大		4	4	3	3	1	1
埼玉大		2		0		2	
千葉大		17	9	14	9	3	
東京海洋大		2		2		0	
電機通信大		1		1		0	
東京医歯大		2	1	2	1	0	
東京外大		2		2		0	
東京学芸大		1		0		1	
東京農工大		4		3		1	
横浜国立大		10		7		3	
新潟大		3	3	0		3	3
福井大		1	1	1	1	0	
山梨大		1		0		1	
信州大		2	1	1		1	1
大阪大		2		2		0	
島根大		1	1	1	1	0	
岡山大		1		1		0	
広島大		1		1		0	
愛媛大		1	1	1	1	0	
高知大		1	1	0		1	1
九州大		2		2		0	
佐賀大		1	1	1	1	0	
宮崎大		2	2	1	1	1	1
鹿児島大		1	1	0		1	1
福島県立医大		2	2	0		2	2
首都大東京		1		1		0	
横浜市立大		2	2	1	1	1	1
静岡県立大		1		0		1	
防衛医科大学校		2	2	0	0	2	2
防衛大学校		1		1		0	
国公立大学・大学校総数		183	43	128	25	55	18

※「医」は医学部医学科の合格者数(東大理Ⅲは除く)

2015年4月11日 現在

私立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計 157 (現役104, 卒業生53)	文	5		3		2	
	文化構想	4		3		1	
	法	18		10		8	
	政治経済	32		23		9	
	商	9		5		4	
	社会科学	13		6		7	
	教育	3		2		1	
	人間科学	6		2		4	
	国際教養	4		2		2	
	基幹理工	18		14		4	
	創造理工	15		13		2	
	先進理工	27		20		7	
	スポーツ	3		1		2	
慶應義塾大学 合計 118 (現役86, 卒業生32)	文	5		3		2	
	法	8		8		0	
	総合政策	6		4		2	
	経済	28		20		8	
	商	19		15		4	
	理工	33		23		10	
	環境情報	3		2		1	
	医	5	5	5	5	0	
	薬	11		6		5	
		2		0		2	
北海道医療大		1	1	0		1	1
岩手医大		1	1	0		1	1
獨協医大		3	3	2	2	1	1
埼玉医大		3		2		1	
千葉工大		3		2		1	
千葉科学大		1		0		1	
青山学院大		9		6		3	
学習院大		2		0		2	
北里大		5	2	3	1	2	1
杏林大		4	4	2	2	2	2
国際基督教大		1		1		0	
駒澤大		1		1		0	
芝浦工大		5		2		3	
順天堂大		11	11	8	8	3	3
上智大		20		14		6	
昭和大		9	7	3	3	6	4
成蹊大		3		1		2	
専修大		1		0		1	
中央大		40		16		24	
帝京大		2	2	0		2	2
東海大		1	1	0		1	1
東京医大		4	4	2	2	2	2
東京慈恵会医大		12	12	10	10	2	2
東京薬大		1		1		0	
東京理大		99		60		39	
東邦大		5	3	2	2	3	1
東洋大		2		0		2	
日本大		25	4	8	2	17	2
日本医大		5	5	1	1	4	4
日本歯大		1		0		1	
日本獣医生命科学大		1		0		1	
法政大		18		12		6	
星薬大		2		0		2	
明治大		67		35		32	
明治学院大		6		3		3	
立教大		16		10		6	
デジタルハリウッド大		1		1		0	
神奈川大		1		1		0	
神奈川歯大		1		0		1	
鶴見大		2		0		2	
藤田保健衛生大		1	1	0		1	1
同志社大		5		0		5	
立命館大		5		0		5	
大阪産大		5		0		5	
近畿大		4		0		4	
関西学院大		1		1		0	
甲南大		2		0		2	
産業医大		2	2	0		2	2
私立大学総数		694	68	398	38	296	30

今年3月の卒業生(26年度高3)は中学からの入学生のみとなった2年目の学年でした。卒業生は276名で、文科コースが3クラス(94名)、理科コースが5クラス(182名)の8クラス体制でした。

大学別合格者数は別表の通りです。東京大学については、現役43名、既卒13名が合格を果たしました。とくに文科コース在籍がこれまでで最も少ない94名であったにもかかわらず、そこから20名の合格は見事です。その他の大学についても、千葉・医に現役9名、慶應・医に現役5名が合格す

27年度大学入試結果概観

学習指導部長 森 昭大

るなど、非常に良好な成績であったと言えます。尚、表中にはありませんが、私大医学部に進学した現役生は10名で昨年度と同数でした。

さて、昨年もここで示したのと同様の表を下に示してみます。理系の結果が例年以上に良好であったことに加え、文系の結果が抜群であったことがよく見えます。

また、現役進学率は、高かった昨年度をさらに上回り68.8%でした。再挑戦を決め、今まさに頑張っている浪人生諸君は、来春の合格を目指して精一杯頑張ってください。教職員一同、心から応援しています。

大学入試結果は、海城生の高い目標がどれだけ実現できたか、翻って見ればわれわれ教職員が生徒達の目標の達成のためにどれだけ環境を整備できたか、どれだけ力

	2015	2014	2013	2012
現役卒業生に占める合格者の割合				
現役東大・京大・一橋大・東工大計 ／在籍	67／276 24.3%	45／269 16.7%	61／375 16.3%	58／382 15.2%
現役国公立医学部(理Ⅲ除く)＋防衛医大計 ／理科コース在籍	25／182 13.7%	20／165 12.1%	20／229 8.7%	20／255 7.8%

になれたか、の一つの重要な指標です。しかし、入試結果を、マスコミがよく好んでやるような単年度の「点」で観るのではなく、複数年の「帯」で観たときに海城が成長しているかこそが重要です。良いものは先輩達から受け継ぎ、不十分なものは修正を加えることで、海城の伝統は積み上げられてきました。これはこれからも続くでしょう。

2020年にはセンター試験に代わる新テストが始まり、2022年には指導要領が変わります。このように、われわれには大学入試を含む教育環境の大きな変化が待ち受けています。海城もそれに対応していかなければなりません。卒業生の皆様には、是非中長期的な視点で海城のさらなる発展を見守っていただければ幸いです。

永年会費納入者

(敬称略)

昭27	昭26	昭25	昭24	昭23	昭22	昭21	昭20	昭19	昭18	昭17	昭16	昭15	昭14	昭13	昭12	昭11	昭10	昭9	昭8	昭7	昭6	昭5	昭4	昭3	昭2	昭1
粕谷 健二	石毛 孝幸	大野 茂峻	小津 卓也	川野 健二	桐井 杏樹	小泉 光広	後藤 正見	小林 裕紀	須賀 隆之	杉山 美邦	鈴木 頼奈	高木 芳弘	高橋 英幹	田口 健次												
昭37	昭36	昭35	昭34	昭33	昭32	昭31	昭30	昭29	昭28	昭27	昭26	昭25	昭24	昭23	昭22	昭21	昭20	昭19	昭18	昭17	昭16	昭15	昭14	昭13	昭12	昭11
中村 清宣	洞口 喜功	松本 裕嗣	山崎 啓介	伊藤 大志	北野 岳	左近慎太郎	竹田 昌弘	田中 大智	中谷 博之	久 博之	福田 友童	山梨 康紀	渡邊 俊													

平成26年12月から
平成27年3月まで
(受領日順)

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されています。ご了承ください。

● 同期会・クラス会だより ●



懐かしい思い出話など大いに盛り上がりました。2時間半はあっという間に過ぎ去り、盛会のうちに終了致しました。なお、O

B会では引き続き会員や鉄道に興味のある海城OBの方をお待ちしております。OB会参加を希望される方、お問い合わせなどがある方はinfo@kaijoteikenoh.comへお問い合わせ下さい。 (H23卒 安西寧幸)

柔道部 尾瀬組OB会

斎田先生ご退官を祝って

3月7日(土)高田馬場にて同月退官される斎田先生を囲み柔道部OB会を行いました。

OBメンバーは昭和51から57年に卒業したいわゆる尾瀬組(つらい夏合宿を行った地名に因んでいます)を中心



に集まりました。卒業後も斎田先生が現役教師というお立場で長年続けてきた会だけに楽しいながらもとても感慨深いところがありました。ただご退官後もいろいろとお忙しくされる一方で逆にOB側が元気を頂いた感もありませんでした。とても時代を感じるOB会でした。(S57卒 込谷 憲)

文化祭実行委員会生徒会OB会

94代から118代が集結

1月3日に新大久保駅前鳥良にて文化祭実行委員会・生徒会OB会の



(文化祭実行委員会・生徒会OB会会長 国井 信男)

ブランディング部会

新しいTシャツ ポロシャツができました

新しいTシャツとポロシャツがお目見えしました。新しいデザインは最近の海城のスクールカラーである明るいブルーです。サイズもそれぞれM・L・XLを準備しています。

ホームページやFAXでの注文をお受けします。購入希望の方は氏名・卒業年・送付先・電話番号・ご希望のグッズの品番・サイズを記入して下記の海原会事務局までご連絡ください。

お支払いは商品受け取り後、商品に同梱した書類に書かれた口座番号にお振り込みください。※会報に同封されている振込用紙はグッズ代金の支払いには使用しないでください。

ホームページ：http://www.unabarakai.jp

※トップページ右上の「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」より

FAX：03-6233-9641

TEL：03-6233-9631 ※TELは留守電です。



T1 1,100円(税込)

P1 2,100円(税込)

※別途郵送料等がかかります。

サイズ目安

M 170センチぐらいまで

L 175センチぐらいまで

XL 175センチ以上